

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

渋川市「蛍の舞うまちづくり（第2期）」再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

渋川市

3 地域再生計画の区域

渋川市の全域

4 地域再生計画の目標

渋川市は平成18年2月に渋川市、伊香保町、小野上村、子持村、赤城村及び北橋村が合併してできた新しい市である。本市は、群馬県のほぼ中央部に位置し、人口84,651人（平成22年12月31日現在）、面積240.42平方キロメートルで、市の中央部を利根川と吾妻川が流れ、東に赤城山、西に榛名山を望んでいる。

本市は、利根川の豊富な水源を利用することで、鉄鋼、化学、金属などの重化学工業を中心に発展を遂げてきた。また、機械、電気機器の生産も盛んであり、近年では飲料、食料品等の企業の進出も見られる。しかし、人口の増加、農地の宅地化や中心市街地の都市化などに伴い、生活環境の悪化、公共用水域の汚濁も進んできた。

このため、昭和54年に中心市街地において下水道事業に着手し、その後、農村部においては農業集落排水事業、住宅団地ではコミュニティ・プラント事業による汚水処理施設の整備を推進し、生活環境の改善、公共用水域の環境保全に寄与してきた。また、平成18年度から22年度まで汚水処理施設整備交付金を活用し、地域再生計画「蛍の舞うまちづくり」により、汚水処理人口普及率を77%にすることができ、整備完了地区では、河川の水質向上を図ることができたが、未整備地区の河川は水質が悪く、地域住民から早期整備の期待が寄せられているため、地域再生計画「蛍の舞うまちづくり（第2期）」を実施し、一日も早い汚

水処理施設の整備を図り、公共水域の水質向上を図る必要がある。

また、当市は大小の河川が多く、その岸边には古くから蛍が生息していたが、家庭雑排水などの流入による河川の水質悪化により、多くの河川から蛍が急激に減少したため、清流の象徴である蛍を呼び戻すべく、河川清掃事業等を実施し、公共用水域の保全を図る必要がある。

このことから、汚水処理施設整備を一層促進し、衛生的で快適な生活環境の創出や河川をはじめとする公共用水域の水質向上を図り、地域に再び蛍が舞い、『人と自然が共生できる豊かな環境』を目指す。

(目標) 汚水処理施設の整備

汚水処理人口普及率を77%（平成22年度）から83%（平成27年度末まで）に向上。

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

農業集落排水事業は、川島地区、深山・長井小川田地区、宮田地区を対象として、管渠整備を行うとともに、既存の処理場を改修し、処理能力の増強を行う。

浄化槽事業については、子持地区、小野上地区において市町村設置推進事業を行い、他の地域については、設置者の申請に基づき設置費補助を行うこととし、両事業による汚水処理施設整備の拡充に努め、汚水処理人口普及率の向上による公共用水域の水質保全を図る。

また、清流となった河川に蛍を呼び戻すため、地域住民によるほたる祭及び河川清掃を実施する。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を完了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・農業集落排水施設(川島地区及び深山・長井小川田地区)

…平成19年1月に、事業採択の通知を受けている。

- ・農業集落排水施設(宮田地区)

…平成23年12月に、事業採択の通知を受けている。

[事業主体]

- ・いずれも渋川市

[施設の種類]

- ・農業集落排水施設、浄化槽（市町村設置型、個人設置型）

[事業区域]

- ・農業集落排水施設 川島地区、深山・長井小川田地区、宮田地区
- ・浄化槽（市町村設置型） 子持地区、小野上地区
(ただし、公共下水道認可区域、農業集落排水事業の整備済地区を除く。)
- ・浄化槽（個人設置型） 渋川市全域
(ただし、公共下水道認可区域、農業集落排水事業の整備済地区、コミュニティ・プラントによる整備済地区、子持地区及び小野上地区を除く。)

[事業期間]

- ・農業集落排水施設 平成23年度～27年度
- ・浄化槽（市町村設置型） 平成23年度～27年度
- ・浄化槽（個人設置型） 平成23年度～27年度

[整備量]

- ・農業集落排水施設 $\phi 150 \sim 200$ 11, 058 m
処理場（改修） 1箇所
- ・浄化槽 520基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

農業集落排水施設	川島地区	1, 280人
	深山・長井小川田地区	1, 250人
	宮田地区	400人
浄化槽（市町村設置型）		340人
浄化槽（個人設置型）		1, 230人

[事業費]

・農業集落排水施設	事業費	1, 318, 880千円
	(うち、交付金	659, 440千円)
・浄化槽(市町村設置型)	事業費	117, 365千円
	(うち、交付金	39, 121千円)
・浄化槽(個人設置型)	事業費	105, 252千円
	(うち、交付金	35, 084千円)
合 計	事業費	1, 541, 497千円
	(うち、交付金	733, 645千円)

5-3 その他の事業

河川清掃の実施

自治会等により、春と秋の年2回、河川の除草及び空き缶拾い等を実施する。

また、蛍の生息している河川や水辺では、地域のほたるの会等による除草等の環境整備を実施する。

6 計画期間

平成23年度～27年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後、渋川市において4に示す地域再生計画の目標の達成状況について必要な調査を行い、状況を把握し、公表する。

なお、整備された汚水処理施設については、水質検査、維持管理等が適切に行われているかを把握できるよう、適切な体制を整える。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし